

## 低温工学・超電導学会 2023 年度第 4 回材料研究会

震災から 13 年目をひかえ、福島をとりまく社会的状況や、必要とされる技術的ニーズは大きく変化してきています。特に、現在の福島では、処理水の放出が開始され、また福島第一原子力発電所の廃炉や廃棄物の最終処分に向けた動きとともに、新技術の拠点構築を含め、住民の帰還と復興に向けた動きが進められています。そこで、福島復興に関わる現場視察を行い、現在の福島の現状と今後求められる技術、そしてその中での低温工学、超電導工学技術の位置づけに関する講演会とディスカッションを行います。多数のご参加をお待ちいたしております。

■**テーマ**：いま福島で語らう“復興とは何か？” ～科学技術と地域文化の観点から～

■**日時**：2024 年 3 月 15 日（金）～16 日（土）

■**場所**：見学会：福島県浜通り地区

シンポジウム：コラッセふくしま（福島駅前）4F 401 会議室（オンライン同時配信）

■**参加費**：見学会ご参加の場合 6,000 円（予定）（昼食代、懇親会費は含まれません）

シンポジウムのみご参加の場合（オンライン含む） 2,000 円（予定）

\*参加費のお支払い方法は、ご参加のお申込みをいただいた方にメールにてご連絡いたします。

\*1 日目のお弁当代（1500 円を予定）、懇親会費は実費にて別途現地にて頂きます。

（お食事代の領収書はお出しできません）。

■**宿泊**：1 日目夜のホテル予約はシンポジウム会場（福島駅）付近で各自ご手配をお願い致します。

■**プログラム**：

1 日目（3 月 15 日（金）） 見学会（先着順：定員 25 名に達した時点で切いたします）

10：00 仙台空港 ⇒11：00-12：00 福島ロボットテストフィールド（南相馬市）

⇒バス内で昼食

⇒13：00-16：50 東京電力福島第一原子力発電所見学（スタンダードコース）

⇒福島駅前までバス移動

2 日目（3 月 16 日（土）） シンポジウム：（福島駅前 コラッセふくしま 4 階 401 会議室）

9：30～ 9：40 開会の挨拶

9：40～10：20 講演① 飯舘村村長 杉岡 誠様

「地域復興関連（題目未定）」

10：20～11：00 講演② 東京電力 HD 福島第一廃炉推進カンパニー 佐藤 学様

「ALPS 処理水の海洋放出について」

11：00～11：10 休憩

11：10～11：50 講演③ 大阪大学大学院工学研究科 牟田 浩明教授

「燃料デブリを可視化する 一英知事業 阪大-英国共同研究の取り組み（仮題）」

11：50～12：00 1F-2050 活動の紹介 大阪大学大学院工学研究科 秋山 庸子

12：00～12：20 総合討論

12：20～12：30 閉会の挨拶

■**申込方法**：下記のフォームまたは右の QR コードにて 2 月 16 日（金）までにお

申し込みください。

<https://forms.gle/7nbVt19beebEyFPQ6>

※最新情報はこちらの HP をご覧ください。

■最新の情報は下記 HP に更新いたします。

<https://sites.google.com/view/fukushimatour2023/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

**共催**：低温工学・超電導学会 関西支部、電気学会「磁気力を活用した脱炭素・環境再生技術と超電導応用」調査専門委員会、大阪大学大学院工学研究科

**オーガナイザー**：材料研究会 秋山 庸子（大阪大学）、関西支部 井原 一高（神戸大学）

【本件に関するお問い合わせ先】

大阪大学大学院工学研究科 秋山 庸子

Tel：06-6879-7897， e-mail：yoko-ak@see.eng.osaka-u.ac.jp